



政治

社会

経済

スポーツ

国際

地域

科学・IT

環境

発言小町

中高生新聞

教育

ライフ

新着

写真

動画

五輪

特集

まとめ読み

社説

カルチャー

大手小町

KODOMO

ヨミドクター

エンタメ

YOMIURI ONLINE

地域

◎ 営業のチャンスを広げるために
社内の名刺を一括管理。



営業を強
テレビ

トップ 北海道発 中部発 北陸発 関西発 九州発

地域 広島 ニュース

文字サイズ 小 中 大

ミステリーハート 尾道・山波で探して

2015年12月23日

ツイート

G+ 0

B! 0



耕作放棄地に出現したハートの模様（尾道市で）

◇船上からの撮影人気/住民有志ら制作、町内に七つ

尾道市山波町の耕作放棄地に、<ハート>の模様が出現した。今秋、尾道水道から、その存在に気づいた旅客船会社のガイドが船上で紹介したところ、乗船客らの人気撮影スポットに。誰が、どのような目的で作ったのか――。（佐藤祐理）

「9月のシルバーウィーク頃、女性客が柑橘畑の一角に見えるハートを撮影していた」。7～11月に尾道水道で観光船を運航する旅客船会社「瀬戸内クルージング」（岡山県笠岡市）の船内ガイドを務めていた尾道市立大の女子学生は、そう振り返る。

同市の千光寺公園にはハート形のモニュメントや花壇などがあり、「恋人の聖地」として知られている。女子学生は「まだ知られていないパワースポットとして、思い出に残るはず」と考え、紹介するようになったという。

乗船客らを魅了したハートは、船内ガイドの驚きを楽しむかのように姿を変えた。内側の草が刈られたとみられる9月は、茶色に浮かび上がっていたが、11月に入ると、ハートの外側が刈り取られたのか、緑色に見えたという。

11月15日、観光船に乗った記者は、船上のアナウンスで、ハートに気づいた。取材を始めたが、制作したとみられる人物は見つからなかった。今

月に入り、市観光課の情報から、一人の男性にたどり着いた。

地域住民でつくる「山波町を良くする会」代表の森迫力男さん（67）だ。「古里が少子高齢化で衰退していくのは忍びない。景観を通して地域を盛り上げ、若者に来てもらえるようにしたい」と思い立ったという。

同会のメンバーと5、6年前から所有者の了解を得て、耕作放棄地や畑などに竹の杭を打ち込んでハート形をつくり、雑草を刈って浮かび上がらせてきた。

記者が目にしたのは一つだけだったが、実は、町内にはJR山陽線と国道2号が交差する付近など同様のハートが七つあるという。森迫さんは「しまなみ海道（西瀬戸自動車道）の車窓や、飛行機からも見ることができるかも」と笑う。

来年3月19日から週末などに運航を再開する同社の藤井瑠夏社長は「一つだけとっていたので、びっくり。他のハートを見つける船旅など新たな海岸沿いのルートを考えたい」と、思わぬ観光資源を歓迎。ガイドを務めた同大2年の渡辺悠吏沙さん（22）も「ハートをPRし、尾道の魅力を広めたい」と意気込む。

森迫さんは「やっぱり、気づいてもらえると、うれしいし、励みになる。これからもハートを増やし、四季を通じて、形がくっきり見えるように頑張りたい」と話している。

逃ハの

今週の



記事

30

1 パ

2 実

3 お

4 ジ

5 衆